

研究タイトル：

## 中国古代における天人関係について

氏名： 松井 真希子 / MATSUI Makiko E-mail: mmatsui@libe.nara-k.ac.jp

職名： 講師 学位： 博士(文化交渉学)

所属学会・協会： 日本中国学会、東方学会

キーワード： 天人関係、陰陽、気

技術相談  
提供可能技術： 漢検、小論文、漢文読解、現代中国語

### 研究内容：



董仲舒

古代中国人は、自然災害をどのように理解していたのでしょうか？

漢代の董仲舒(とうちゅうじょ)は、「陰陽の二気」が媒介となって、為政者の徳・不徳に応じて「天」が祥瑞や災異を降すという「天人相関説」を唱えました。

ここで重要なのが、「陰陽の二気」です。「陰陽の二気」という概念がなければ、董仲舒も「天人相関説」を唱えることはできなかったはずですが。

しかし、「陰陽」と「気」は、もともとまったく別の概念でした。では、両者はどのように結びついていったのでしょうか。

このような観点から、董仲舒以前の天と人との関係の捉え方を明らかにしたいと考えています。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	